

## 眼瞼下垂に対する経結膜的挙筋腱膜前転術

——演者の考える手術の要点——

### 清水 雄介

Yusuke Shimizu

琉球大学大学院 医学研究科 形成外科学講座

眼瞼下垂に対しては様々な手術方法が考案されている。外科医は社会的な背景を含めた個々の患者の状況に応じて適切な手術方法を選択することが望ましい。演者は眼瞼下垂手術の選択肢の一つとして、皮膚を大きく切開せず、結膜側からナイロン糸を用いて挙筋腱膜を前転する経結膜的挙筋腱膜前転術を用いることがある。手術時間は片目10分程度と短く、術後の腫脹は少ない。演者が考える同手術の適応、利点、欠点、要点について手術動画を交えて供覧する。